

## ■ブルガリア：電気料金の高騰に対する抗議行動がブルガリア全土で発生

ブルガリアの複数の都市で、電気料金の高騰に対する抗議行動が続いている様子が伝えられている。2013年2月17日の日曜日には、全国で数万人に達する国民が、20以上の都市で抗議行動を展開し、首都ソフィアでは、デモ隊と警官隊との衝突も発生している模様である。抗議行動の参加者は、内閣総辞職と、電力会社（配電・供給事業者）の再国有化などを訴えている。ブルガリアでは、2000年代前半に開始された電気事業再編・民営化により、配電・供給部門に外資が参入しており、現在、国内で3つに分かれた配電エリアのそれぞれを、CEZ社（チェコ）、エネルゴ・プロ社（チェコ）、EVN社（オーストリア）が管轄している。報道によれば今冬、ブルガリアでは電気料金請求額が急激に高騰し、電力会社はその理由を、寒波の到来、卸電力価格の上昇に加え、料金算定期間の変更（長期化）などにより説明していた。しかし、国民はもはや、平均で100ユーロを超えるような請求額を支払う能力はない（ブルガリアの平均給与所得は387ユーロ／月）と訴え、電力会社と政府に対する不信を募らせている。